

基本政策 4 快適で便利な生活を支えるために

- 基本施策 4 - 1 計画的な土地利用を推進する
- 基本施策 4 - 2 良好な生活空間を提供する
- 基本施策 4 - 3 生活衛生環境を高める
- 基本施策 4 - 4 公共交通の利便性を高める
- 基本施策 4 - 5 道路の利便性を高める
- 基本施策 4 - 6 安全で安心な水道サービスを持続する
- 基本施策 4 - 7 持続的・効果的な下水処理サービスを提供する

基本政策 4 快適で便利な生活を支えるために

基本施策	具体的な施策
1 計画的な土地利用を推進する	① 効率的な土地利用を推進する ② 円滑な土地利用を推進する
2 良好な生活空間を提供する	① 良好な景観を形成する ② 公園を適正に管理する ③ 市営住宅を適正に管理する ④ 空き家等を有効活用する
3 生活衛生環境を高める	① ペットの適正飼養を促進する ② 火葬場を適正に管理運営する ③ 市有墓地を適正に管理する
4 公共交通の利便性を高める	① 地域バスの利用を高める ② 広域的かつ総合的な公共交通ネットワークを構築する
5 道路の利便性を高める	① 体系的な道路網を整備する ② 歩道を整備する ③ 道路機能を保全する
6 安全で安心な水道サービスを持続する	① 水道水の安全を確保する ② 水道の管理体制を整備する ③ 水道施設を整備する ④ 安定的な事業運営を持続する ⑤ 専用水道等の適正管理を指導する
7 持続的・効果的な下水処理サービスを提供する	① 地域に応じた生活排水処理施設を整備する ② 下水道施設の延命化や耐震化を推進する ③ 下水道接続によるトイレの水洗化を促進する ④ 健全かつ安定的な事業経営を構築する



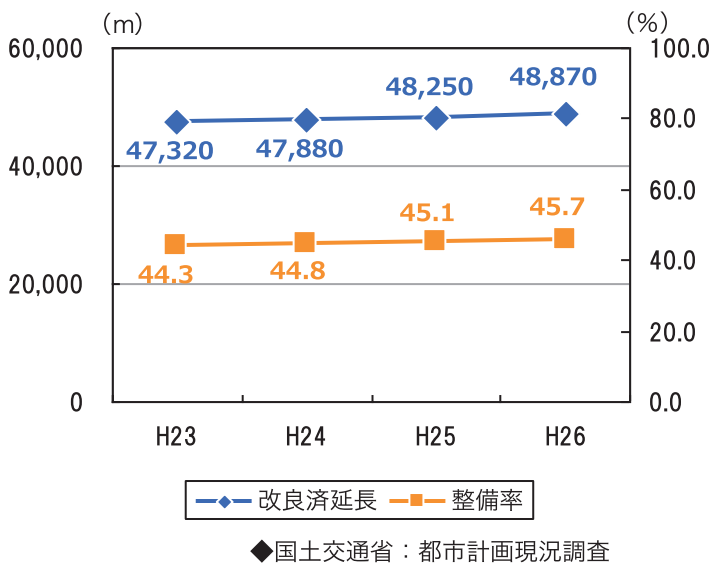
基本施策 4 - 1 計画的な土地利用を推進する

現状

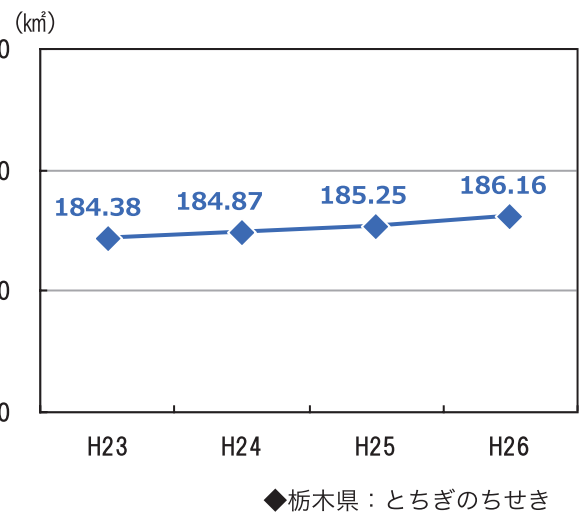
本市においても人口減少や少子高齢化が進んでおり、今後、市街地では、都市機能の低下や中心市街地の空洞化が進展するおそれがあります。また、農山村部では、耕作放棄地や荒廃森林等が増加していくことが想定されます。今後、さらなる人口減少の進展により、市土全体としての開発需要は低下していくものと考えられますが、用途地域の周辺部での宅地開発は、一定の需要があることが見込まれ、無秩序な土地の開発が行われる可能性もあります。それらの結果、非効率な土地利用が増加することによる行政コストの拡大や行政サービスの効率性の悪化、土地の管理水準の低下による美しい田園景観や自然環境の喪失が懸念されることから、社会情勢の変化に対応した都市構造の転換が求められています。

また、土地の地籍においては、地籍が不明確な地域で、土地に関する経済活動や行政活動での支障や無駄が生じていることから、土地の地籍の明確化が求められています。

都市計画道路の改良済延長・整備率



地籍調査の年度別実施状況



課題

- 集約型都市構造の実現
- 地籍の明確化

具体的な施策

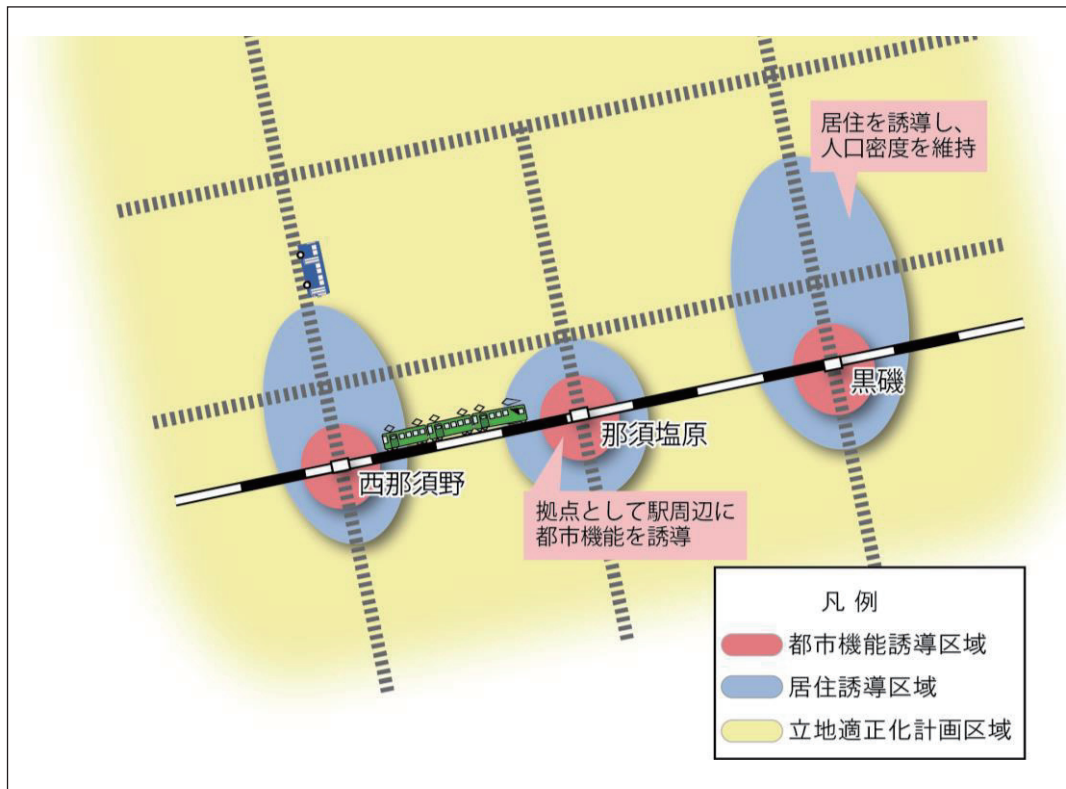
- ① 効率的な土地利用を推進する
- ② 円滑な土地利用を推進する

目指すまちの姿

地域特性に応じた、計画的な土地利用が行われ、集約型都市構造への転換が進んでいます。

具体的な施策	取組内容	目標値			担当課
		指標	H26 (基準年度)	R4 (目標年度)	
① 効率的な土地利用を推進する	<ul style="list-style-type: none"> 国土利用計画や都市計画マスタープランの推進 立地適正化計画の策定・適切な運用 土地利用関係法令や開発許可制度の適切な運用 	用途地域内人口割合	47.1%	48%	企画政策課 都市計画課
② 円滑な土地利用を推進する	<ul style="list-style-type: none"> 地籍調査の実施 	地籍調査の進捗率	56.8%	58.4%	農林整備課

立地適正化計画による本市の誘導区域（イメージ）



関連する計画

- 国土利用計画那須塩原市計画(平成29～38年度)
- 都市計画マスタープラン(平成17～37年)
- 第6次国土調査事業十箇年計画(平成22～31年度)
- 立地適正化計画(平成30年度～)



基本施策 4-2 良好な生活空間を提供する

現状

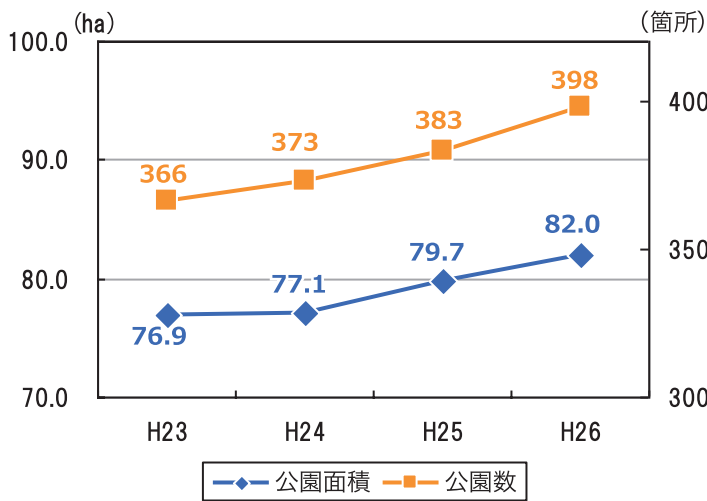
自然豊かな本市においては、良好な都市景観を保全・形成していくため、周辺的环境に配慮したまちづくりが求められており、豊かな自然と調和した潤いと安らぎのある景観を形成するため、市景観条例に基づく届出や平成27年10月1日に施行した市屋外広告物条例による許可制度の適切な運用を進めています。

また、地域の特性を生かした様々な公園や広場などが整備され、多くの市民の散歩やレクリエーションを楽しむ場として利用されていますが、施設の老朽化や民間の開発公園の市への移管増加により、維持管理業務や経費の増大などの問題も発生しています。

市営住宅については、昭和50年以前に建設された住宅の多くが更新時期を迎えているほか、高齢化を踏まえた対応が求められています。

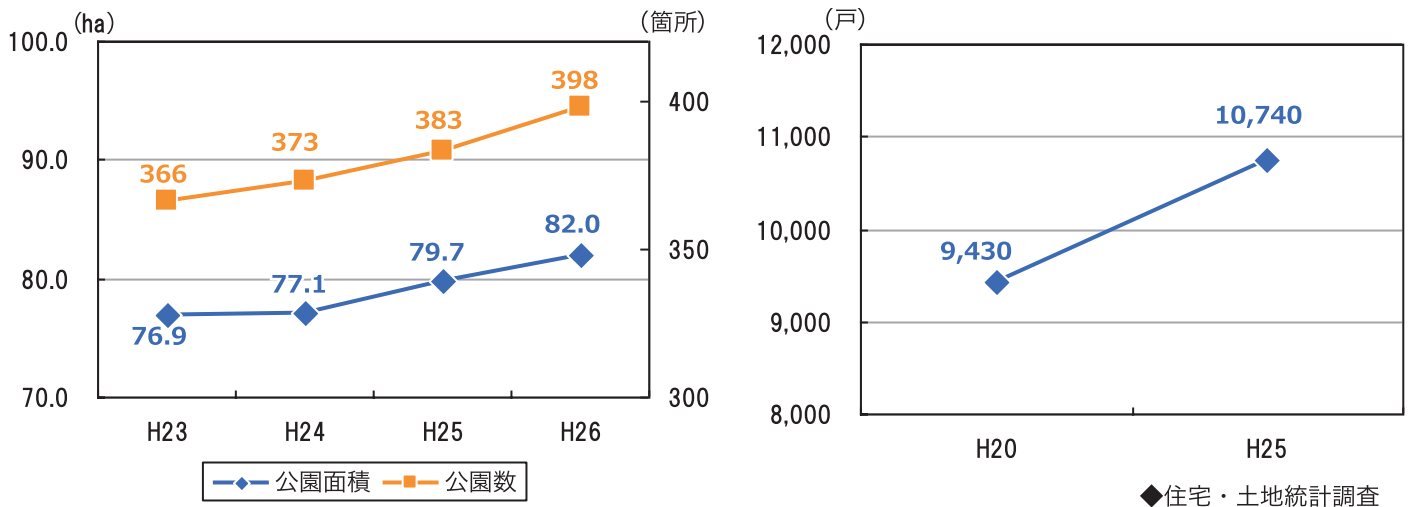
空き家等については、人口減少や既存建築物の老朽化、社会ニーズの変化及び産業構造の変化に伴う全国的な増加傾向の中、管理不全な空き家等も増加しており、総合的かつ計画的な対応が求められています。

管理公園面積と公園数の推移



◆都市整備課調べ

市内の空き家の状況



◆住宅・土地統計調査

課題

- 魅力ある景観の保全
- 安全安心な憩いの空間の提供
- 市営住宅の長寿命化対策
- 市内における空き家等の増加

具体的な施策

- ①良好な景観を形成する
- ②公園を適正に管理する
- ③市営住宅を適正に管理する
- ④空き家等を有効活用する

目指すまちの姿

自然と調和した景観や憩いの空間が形成され、安らぎのある暮らしが提供されています。

具体的な施策	取組内容	目標値			担当課
		指標	H26 (基準年度)	R4 (目標年度)	
① 良好な景観を形成する	<ul style="list-style-type: none"> ・景観計画や景観条例の適切な運用 ・屋外広告物条例の適切な運用 	景観計画区域内における建築行為等届出適合率	100%	100%	都市計画課
② 公園を適正に管理する	<ul style="list-style-type: none"> ・指定管理者制度活用による都市公園の適正な管理 ・都市公園等長寿命化計画に基づく公園施設の修繕・更新 	都市公園等長寿命化計画の進捗率	10.4%	96%	都市整備課
③ 市営住宅を適正に管理する	<ul style="list-style-type: none"> ・良好な居住水準と安全性の確保 ・需要と供給のバランスを考えた適正な戸数の確保 ・指定管理者制度導入による民間活力とノウハウを生かしたサービスの向上 	適正な市営住宅の管理戸数	842戸	719戸	都市整備課
④ 空き家等を有効活用する	<ul style="list-style-type: none"> ・空き地・空き家等の管理不全化の防止 ・定住促進への有効活用 ・空家等の推進に関する特別措置法に基づく管理不全な空き家等に対する除却・修繕・立木竹の伐採等の措置の助言等 	空き家バンク制度による契約成立件数	0件	15件	都市整備課 生活課



烏ヶ森公園



市営住宅

関連する計画

- 景観計画 (平成21年度～)
- 公園施設長寿命化計画 (平成25～34年度)
- 住生活基本計画 (平成23～32年度)
- 市営住宅等長寿命化計画 (平成23～32年度)
- 空き家等対策計画 (平成29～38年度)



基本施策 4 - 3 生活衛生環境を高める

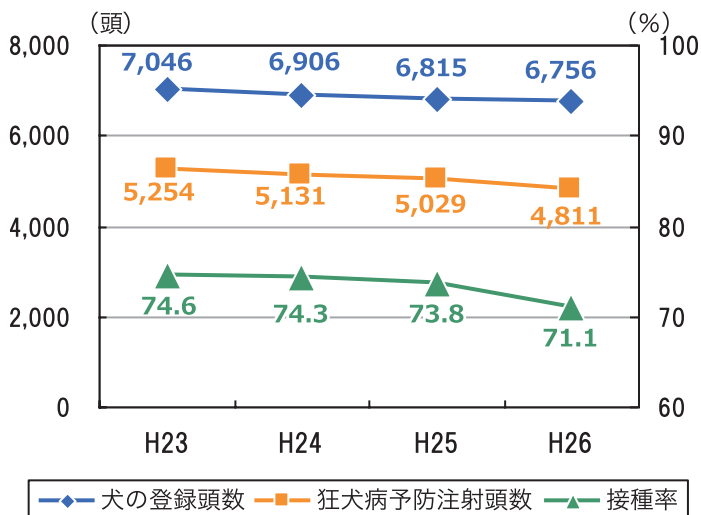
現状

狂犬病は、発病後の治療法が存在しないため、感染の予防そのものが最も重要な対策です。世界保健機関（WHO）のガイドラインでは、国内の流行を防ぐための狂犬病予防接種率を70%としていることから、適切な対応が求められています。

市民が利用する火葬場は、大田原市火葬場、那須聖苑（黒磯那須共同火葬場）の2施設であり、現在支障なく管理運営されています。しかし、将来、施設の老朽化による修繕費の増加や火葬場利用者の増加が予測されることから、住民サービスの低下を招かないよう大田原市、那須町と協調した適正な管理運営が求められています。

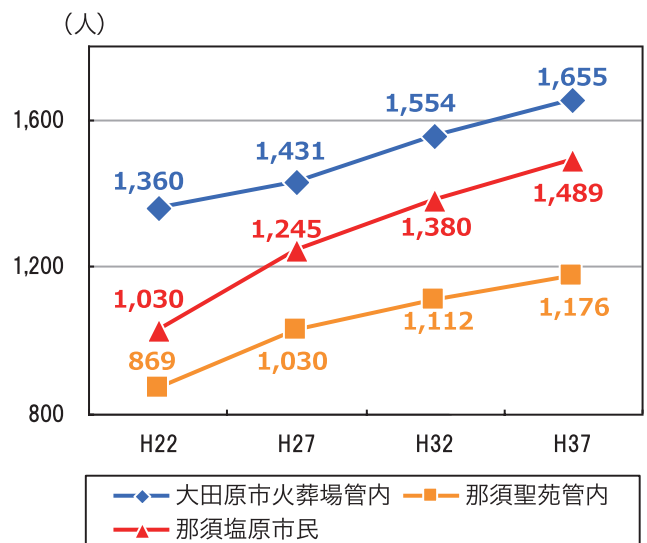
市有墓地には、区画不明の墓地、承継者不在の無縁墓地、使用者不明等の墓地、子孫不在や転出により返還された墓地が存在することから、墓地台帳を整備し、適正な墓地管理を行えるようにすることが求められています。

犬の登録頭数及び狂犬病予防注射頭数



◆栃木県動物愛護指導センター

将来死亡者数の推計



◆那須地区広域行政事務組合

課題

狂犬病予防注射の接種率の向上

施設の老朽化と利用者件数の増加予測

墓地台帳の整備

具体的な施策

①ペットの適正飼養を促進する

②火葬場を適正に管理運営する

③市有墓地を適正に管理する

目指すまちの姿

市民が安心して暮らせる、衛生的な生活環境を実現しています。

具体的な施策	取組内容	目標値			担当課
		指標	H 2 6 (基準年度)	R 4 (目標年度)	
① ペットの 適正飼養を 促進する	<ul style="list-style-type: none"> ・ 狂犬病予防注射の実施と啓発 ・ 犬登録データの管理 ・ ペットの正しい飼い方等の啓発 	狂犬病予防注射接種率	71.1%	74.6%	環境管理課
② 火葬場を適正に 管理運営する	<ul style="list-style-type: none"> ・ 那須聖苑の運営 ・ 大田原市火葬場の経常経費負担 	黒磯那須共同火葬場における苦情件数(累計)	0件	0件	環境管理課
③ 市有墓地を 適正に管理する	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市有墓地使用者の適正な把握 ・ 市有墓地における個々の墓地区画の確定 ・ 墓地管理システムによる管理 ・ 墓地管理料の完納維持 	調査完了墓地区画数	1,433区画	3,177区画	環境管理課



狂犬病の予防注射

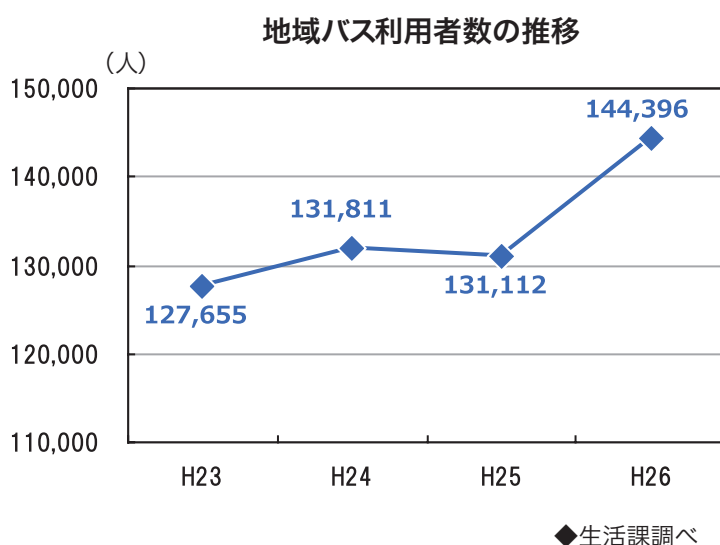


基本施策 4-4 公共交通の利便性を高める

現状

自家用車による移動が中心となっている現在の社会生活において、地域バス（ゆーバス・予約ワゴンバス）は特に高齢者や運転免許を持たない生徒等の移動手段として大きな役割を担っており、日常生活に不可欠な生活路線として市民のニーズを的確に捉えた効果的な運行が求められています。

また、多様化するニーズや高齢化の進行に対応するため、地域バスを含めた利便性の高い、広域的かつ総合的な公共交通ネットワークの構築が求められています。



課題

地域バスの認知と利用

多様化するニーズと超高齢社会への対応

具体的な施策

①地域バスの利用を高める

②広域的かつ総合的な公共交通ネットワークを構築する

目指すまちの姿

地域バスを始めとした利便性の高い公共交通によって、快適な移動が行われています。

具体的な施策	取組内容	目標値			担当課
		指標	H26 (基準年度)	R4 (目標年度)	
① 地域バスの利用を高める	<ul style="list-style-type: none"> ・バス利用促進策の実施 ・市民ニーズを踏まえた効果的な運行の実施 	地域バス利用者数	144,396人 ／年	202,000人 ／年	生活課
② 広域的かつ総合的な公共交通ネットワークを構築する	<ul style="list-style-type: none"> ・他市町や交通事業者との連携、協議及び検討 	JR駅からの地域バス乗車人数	22,383人 ／年	33,500人 ／年	生活課



市内を走るゆーバス



市内の3つの鉄道駅



関連する計画

(仮称)那須地域定住自立圏地域公共交通網形成計画(平成29年度～)
 (仮称)那須塩原市地域公共交通網形成計画(平成29年度～)